

(配付資料)

平成28年度公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム事業 事業報告会

『音楽』による地域のつながりづくり

実行委員会名 高屋町子守唄の里音楽祭実行委員会（井原市高屋公民館）

1 事業のねらい

- (1) 「中国地方の子守唄」発祥の地の原点である高屋町の各種団体が協力して、文化遺産の継承と共に、文化の香り高いまちづくり、心豊かなまちづくりの一環として、「高屋町子守唄の里音楽祭」を開催し、子どもから高齢者までが一同に集い、親子、地域の絆を深め、一体感・連帯感を醸成する。

2 工夫点

- (1) 中学生の運営委員会への参画、ポスター、チラシの企画
- (2) 高屋町民による混声合唱団の結成
- (3) 前日準備、当日運営の幼稚園・小学校・中学校PTAの増員

3 実行委員会の組織・構成

運営委員会・・・「実行委員会」の下部組織として、地域団体代表者及び役職で構成し、当日までの準備や当日の運営を行う。

4 取組内容

- (1) 地域団体で構成している「実行委員会」で音楽祭の方針・企画、「運営委員会」で前日・当日の運営を行った。
- (2) 中学生の運営委員会への参画、ポスター、チラシの企画
- (3) 高屋町民による混声合唱団の結成

5 実施状況

- (1) 5月に第1回実行委員会を開き、音楽祭の方針や予算、ゲスト出演者を決定した。
- (2) 9・10・11月に運営委員会を開き、音楽祭を開催に向けて、ゲストの出演調整、台本の作成、会場設営・撤去や当日のリハーサル及び本番の舞台進行・舞台転換・出演者の誘導、昼食の配膳など音響・照明以外の運営について協議を行った。
- (3) 音楽祭前日は、会場である高屋中学校体育館に会場設置や出演者やスタッフの昼食である300名分のカレーの準備を行い、当日は午前中に出演者全員のリハーサル、午後の本番を運営委員会を中心とした地域住民で行った。



6 事業の成果と課題

- (1) 混声合唱団の結成により「中国地方の子守唄」に愛着を感じ、週1回の練習を公民館ですることによって、普段関わりのあまりない住民の和が広がったが、団員数が少ないので、特に公民館に関わりの薄い年齢層を中心に団員数を増やしたい。
- (2) ポスター・チラシのデザインを吹奏楽部の中学生にもらい、音楽祭への関わりを増やしたが、来年以降は小学生や中学生、高校生が関われ、中学生などが主体性を出せる音楽祭を検討していきたい。

